

2019 年度 春期利用適正化実験の実施結果について

1. 準備および実施概況

2019 年 1 月 15 日	登録引率者審査部会（第 30 回）にて実験の実施について合意。3 年計画の最終年として位置づけ。
2 月 1 日	実験協力引率者の募集を開始。
2 月 14 日	24 名の登録引率者が参加を表明（昨年度と同数）。
3 月 1 日	実験ツアーの予約受付を開始。
4 月 11 日 16 日	事前説明会の開催。実施要項、予約方法、ガイドライン等の説明を実施。
4 月 17 日	モニタリングサイトの設置。モニタリング調査開始。
4 月 19 日	事務局による現地地下見を実施。
4 月 25 日	実験ツアーを当初予定通り開始。利用者アンケート調査の開始。
5 月 5 日	融雪により、予定を繰り上げて実験ツアーを終了（昨年は 5/1 終了）。
5 月 6 日	大ループコースの一般供用開始。
5 月 9 日	モニタリング調査終了。サイトの撤去。

2. 立ち入り実績および実験ツアー実施概況

- 期間中、おおむね好天が継続。暴風による臨時閉園（5/1）があったが、道路閉鎖等は発生せず。ゴールデンウィークの 10 連休の影響により、植生保護期（春）の認定数は 8,664 名と過去最高を記録した。特に 4/29～5/4 の期間は非常に混雑し、駐車場の入場待ちが連日発生した。ピークは 5/3 で入場待ちの車列は 1,200m 近くなった。
- 期間中、143 組 1,013 名のツアー参加者（引率者除く）があり、昨年の 4.5 倍以上と大幅に増加した。ピークは 4 月 30 日の 21 組 164 名（表 1）。
- 過去 3 年間の実績で見ると、小ループ（一般）、大ループ（ツアー）共に利用者が最多であったが、認定者数に占める実験参加者の割合は概ね 10%前後である。
- 積雪は平年より少ないが、昨年よりは多かった。実験開始前の積雪は、深い箇所では約 70 cm 程度であり、5 月 1 日にはほぼ消失した。その後はぬかるみや泥濘箇所が目立った。
- 実験ツアーにて 3 件のヒグマ遭遇あり。いずれも中止とし、2 時間後に再開した。中止に伴う振替に課題があった。また、混雑による遅刻やキャンセルが発生。装備不足や予約ルールのトラブル等も発生した。

表1. 植生保護期（春）における認定者数と実験ツアー参加数

天候	地上歩道全体		実験ツアー			開閉状況	
	申請数	認定数	催行数	ツアー参加数	ツアー割合	ヒグマ目撃	閉鎖回数
4月20日 晴	36	76	実験前			1	1
4月21日 晴	29	56				0	0
4月22日 曇	20	38				0	0
4月23日 晴-曇	22	45				0	0
4月24日 晴	13	28				0	0
4月25日 濃霧-曇	11	19	1	1	5%	0	0
4月26日 曇	25	62	6	14	23%	0	0
4月27日 曇/雪	57	169	12	44	26%	0	0
4月28日 晴	176	507	16	114	23%	5	2
4月29日 晴	324	843	14	107	13%	1	1
4月30日 晴	584	1,561	21	164	11%	0	0
5月1日 暴風雨-曇	269	749	8	52	7%	0	1
5月2日 濃霧/雨	410	1,133	16	153	14%	0	0
5月3日 曇-晴	429	1,178	19	133	11%	0	0
5月4日 晴	413	1,140	16	148	13%	0	0
5月5日 晴	239	639	14	83	13%	0	0
5月6日 晴-曇	55	126	終了後			3	2
5月7日 曇-雨	22	47				0	0
5月8日 晴/雨	42	82				0	0
5月9日 曇-晴	66	166				0	0
計	3,242	8,664	143	1,013	11.70%	10	7

3. 検証データの取得状況

表 2. 実施調査と手法、結果

	調査名	調査概要	実施場所	実施期間/頻度/結果
現地モニタリング	定時気象観測	積雪、気温、天候等を観測	五湖 FH	4/20～5/9 まで 7:30 に毎日実施。
	積雪深・調査 (HS)	遊歩道の各地点で積雪深を測定	A~P の計 16 サイト	計 4 回実施。4 回目積雪なし。 (4/17, 4/23, 4/30, 5/9)
	施設状況調査 (FS)	歩道上にサイトを設置。融雪状況と施設の状況を観察。	4 サイト	実験開始前 (4/17, 4/23) 実験中 (4/30) 終了後 (5/9) の計 4 回実施。
	トレイルカメラ (TC)	自動撮影カメラによる定点撮影。	4 サイト	4/17～5/9 まで各サイトにおいて日中 1 時間毎に歩道を撮影。
社会調査	参加者アンケート (A 調査)	実験ツアー参加者に対するアンケート調査。現地回収。	五湖 FH	実験ツアー期間に実施。計 327 サンプル回収。
	非参加者アンケート (C 調査)	通常の認定者に対するアンケート調査。郵送回収。		4/25～5/3 まで実施。 600 部配布、206 サンプル回収、回収率 34.3%



図 1. モニタリングサイトの位置

4. 実験記録・引率者記録

(実験日報より抜粋)

装備について	<ul style="list-style-type: none"> ■長靴の貸し出しをせずに出発した事例が1件あり。 ■装備の案内が行き届いておらず、スニーカーで立ち入ろうとしたツアーあり。
手続き・無線	<ul style="list-style-type: none"> ■出発無線の入電なし(5件)。 ■到着がぎりぎり手続き・ブリーフィングが不十分(7件)。 ■渋滞により、ツアー時間の変更多数(4/30, 5/3)。 ■低温によりツアー時間が大幅に短縮(4/27)。
ヒグマ	<ul style="list-style-type: none"> ■ツアー中止後のツアーの再振り分けでトラブル。事業所とFHの予約が競合していることが原因。 ■再利用券の発行について疑義あり。ヒグマ期と植生期で運用が異なるため。 ■ツアー予約について、ダブルブッキングや仮押さえ等の課題があり。システム対応していないことが原因。
申込・受付	<ul style="list-style-type: none"> ■モニターツアーの参加方法について問い合わせ。ツアー情報が公開されていないため、どこに申し込んでよいかわからない。 ■モニターツアーに参加するか迷っている。大ループが開くなら個人散策したい。 ■ツアー限定利用もよいが、個人にも開放してほしい。
一般より	<ul style="list-style-type: none"> ■大ループの開放時期について問い合わせ多数(5月以降毎日)。 ■逆走の一般利用者が4湖付近でツアーと出会い、嚴重注意(5/2)。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■暴風の影響により午前中臨時閉園(5/1)。ツアーもキャンセル。

(ツアー記録より)

参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ■肌寒かったが、暖かい服で来てもらったので大丈夫でした。寒さ対策が大事だと思います(4/25)。 ■気温が低いので、雪固く歩きやすかった。5才の子供と78才の男性も一緒に歩いたが、3時間くらいで歩けた(4/26) ■寒かった。でもお客さんは景色を楽しんでいた。踏み固めてあるところは凍っていたが、一歩外れるとズボットはまった(4/26)。
ツアー運用 歩道状況	<ul style="list-style-type: none"> ■木道すべる。油断注意。雪の上は歩きやすい(4/27)。 ■寒い日のペース配分が難しい(4/26)。 ■融雪進んでいるため、ふみ抜き注意(4/28)。 ■下見時よりかなり融雪が進み、コースタイムに影響ない残雪状況になった(4/29)。 ■木道すべりやすい。歩きやすい。トレース跡を歩かせた(4/30)。 ■P地点から合流し人の多さもあり時間調整が少しやりづらい面もありました(5/1)。 ■融雪すすむ。ルート上残雪わずか。今夜中にとけそう。ぬかるみひどい。静かに楽しめた(5/3)。 ■遊歩道上の残雪は無しだが、引き続き水たまりぬかるみ多数で、場所によっては長靴等ないと踏み外してしまう(5/4)。